水地の保全について深く考えさせられる好著である．一度読まれることを改めてお薦めする．

（中村智幸　Tomoyuki Nakamura：〒386-0031 上田市小牧1088 中央水産研究所 e-mail: ntomo@fra.affrc.go.jp）

図書紹介・New Publications

魚類学雑誌
50(1): 79

□魚類学

新顔の魚．（復刻版）． 伊藤魚学研究振興財団が1970年から1995年に刊行した「新顔の魚」（阿部宗明著）が復刻されました．この復刻版は伊藤魚学研究振興財団が2003年3月31日に解散することになったため，最後の事業として刊行されました．原本はリーフレット（平均8頁）でほぼ1年に1回発行され，26年間に外国産を中心に約200種の食用魚を紹介しています．復刻版の入手方法は以下のとおりです．

購入申し込み先：（有）まんぼう社　〒262-0045 千葉市花見川区作新台6-15-12　電話：043-258-6420，ファクス：043-258-6422，e-mail: manbowsha@manbow-sha.co.jp　定価：4,800円（税別）

送料：2冊まで300円，3冊以上は出版社負担．

送金方法：郵便振替または銀行振込．現金書留にて送金して下さい．入金確認後に発送されます．

郵便振替口座　00130-2-415386　有限会社まんぼう社

銀行振込口座　みずほ銀行　八千代支店　普通　1419185　有限会社まんぼう社（代金の振込手数料は申込者負担）．

代金引換宅配便利用の場合：上記の定価，送料の他に代引手数料が加算されます．代引手数料は，2冊まで630円，5冊まで840円，6冊以上は出版社負担．

（松浦啓一　Keiichi Matsuura：〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1　国立科学博物館動物研究部　e-mail:matsuura@kahaku.go.jp）

□生態学

最新のサケ学． —帰山雅秀．2002．成山堂書店，東京．128 pp. ISBN 4-425-85101-3. 1,600円（税別）．本書はサケ学の入門書として，サケの魅力と重要性について紹介した，ベルソーブックスの11番目の著作である．サケの仲間の紹介から始まって，サケの生活史や母川回帰について解説し，資源変動のメカニズムや養殖や放流など水産上の諸問題まで，たいへんわかりやすく説明している．とくに第5章の「孵化場生まれと野生のサケ」は著者がもっとも力を入れて書いていると実感される章であり，今後の課題として(1)自然河川の回復，(2)目的に応じた地域集団の維持，(3)回帰親魚の生物モニタリング，(4)最適放流技術の確立の4点が解説されている．自然河川の生態系の保全なくして未来はないという著者の主張に全面的に賛同するとともに，河川の資源や生態系を上手に管理するためには今後どうすべきか考えさせられた．　（片野　修）

メダカとヨシ． —佐原雄二・細見正明．2003．岩波書店，東京．186 pp. ISBN 4-00-006730-3. 2,000円（税別）．岩波書店が刊行する現代日本生物誌の一冊であり，注目されている動物と植物1種ずつを解説し，最後にシリーズの編者と著者の討論があるという構成になっている．メダカについては，水田水路系で個体識別を施して，その行動や移動を追跡した研究が興味深く紹介されている．また，メダカの生息場所の特徴や外来種のカダヤシとの関係などもくわしく記述されている．ヨシについては，環境浄化や魚のすみ場所との関係がとくにおもしろかった．最後の討論を読むまで，メダカなら稲を取り上げた方がよいのではないかと思っていた．しかし，稲作がおこる前までは，メダカは湿地帯に広く分布し，ヨシ帯で生活していたという．なるほどと思った．　（片野　修）

鯰． —魚と文化の多様性—．—滋賀県琵琶湖博物館（編）．2003．サンライズ出版，彦根．214 pp. ISBN 4-88325-136-5. 1,200円（税別）．本書は，琵琶湖博物館が2001年に行った企画展「鯰—魚がむすぶ琵琶湖と田んぼ—」および関連したシンポジウムや講演・討論などをまとめたものである．分類，生態，民俗学，漁業から保全まで，異なる視点から鯰に焦点をあてた好著であり，随所に散りばめられた写真や図版も興味深い．一方で，著しい環境破壊が進められ，外来魚の巣窟になってしまった琵琶湖では，この20年，魚類群集の動態について過去の資料と比較検討するに足る知見すら得られなかった．鯰への関心に触発されて，琵琶湖やその周辺の魚類群集研究が活発となり，鯰を含めた在来魚の保全が進むことを強く希望する．　（片野　修）